

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東北公益文科大学
設置者名	学校法人東北公益文科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
公益学部	公益学科	夜・通信		12	16	28	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページに掲載 <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/academics/completion-guide/index.html">https://www.koeki-u.ac.jp/academics/completion-guide/index.html</a>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東北公益文科大学
設置者名	学校法人東北公益文科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページに掲載 <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/officer_list.html">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/officer_list.html</a>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	酒田市長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	組織運営体制への チェック
非常勤	鶴岡市長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	組織運営体制への チェック
非常勤	山形県副知事	2018/12/21 ～ 2020/12/20	組織運営体制への チェック
非常勤	(株)ウエノ代表取締役社長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	産業界との連携 等
非常勤	山形県商工会連合会会長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	産業界との連携 等
非常勤	(医)日吉歯科診療所理事長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	国際化の推進
非常勤	元(学)羽黒学園理事長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	学生募集活動強化
非常勤	三川町教育長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	教学改革の推進
非常勤	山形パナソニック(株) 代表取締役会長	2018/12/21 ～ 2020/12/20	産業界との連携 等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北公益文科大学
設置者名	学校法人東北公益文科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>例年10月の教育推進委員会で次年度の作成方針が協議され翌11月の教授会において全学で共有される。11月から1月にかけて各担当教員が作成しウェブ上のフォーマットに入力する。その後、教育推進委員が分担してすべての科目の第三者チェックを実施し、3月中にシラバスをウェブ上で公開している。</p> <p>シラバスに記載している項目は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディプロマ・ポリシーに定める能力のうち、当該科目で育成するスキル</li> <li>・ アクティブラーニングの形態</li> <li>・ 教職課程科目、社会福祉士課程指定科目かどうか</li> <li>・ 実務家教員の担当科目かどうか</li> <li>・ 地域に関する学習が含まれるか</li> <li>・ 科目名(英語名)</li> <li>・ 担当教員</li> <li>・ 開講時期</li> <li>・ 科目ナンバー</li> <li>・ 授業コード</li> <li>・ 単位</li> <li>・ 授業概要</li> <li>・ 到達目標</li> <li>・ スキルの育成方法</li> <li>・ 授業計画(毎回の授業内容、事前事後学修内容とその所要時間)</li> <li>・ 成績評価基準</li> <li>・ 前提科目・後継科目</li> <li>・ 教科書</li> <li>・ 参考書</li> <li>・ その他・注意事項</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページに掲載</p> <p><a href="https://www.koeki-prj.org/syllabus/2020/">https://www.koeki-prj.org/syllabus/2020/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの「成績評価基準」欄に各科目の評価基準を明記しており、その基準に基づいて厳格かつ適正に成績評価をしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAは履修した科目の成績評価を数値化し、1単位あたりの平均点を算出したもの。1単位あたり「秀=4」、「優=3」、「良=2」、「可=1」、「不可=0」に置き換えて数値化する(2単位の科目の成績評価が「秀」の場合、その科目のGPは「8」となる)。</p> <p>半期または通年のGPAを算出し、これによってCAP制の上限単位数を設定しているほか、半期ごとのアドバイザー面談でも前学期の振り返りに活用している。また、特待生の更新審査にも利用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページに掲載  <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/academics/completion-guide/index.html">https://www.koeki-u.ac.jp/academics/completion-guide/index.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

公益学部のディプロマポリシーは次のとおりです。

公益学部は、次の方針に基づいて学士（公益学）の学位を授与します。学生の皆さんは、卒業に必要な所定の単位修得を含めた学修活動を通じて、この方針に示した能力を修得することが求められます。

○幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の4つの力を身に付ける。

- ・ 1 コミュニケーション力と発信力
- ・ 2 国際感覚
- ・ 3 創造力と企画力
- ・ 4 リーダーシップ

なお、卒業に必要な所定の単位は次のとおりです。(2020 年度入学生)

科目区分			卒業要件	
基礎教育 科目	スタディー導入科目		8 単位	
	教養科目	I 群	4 単位以上	各群から 4 単位以上修得、 かつ合計 2 4 単位以上
		II 群	4 単位以上	
		III 群	4 単位以上	
	リテラシー 科目	外国語科目	8 科目 8 単位以上 (但し同一言語)	
情報科目		4 科目 8 単位		
専門教育 科目	地域経営系	系共通科目	5 8 単位以上 (発展教育科目と合算して) ※所属している系から 3 5 単位以上修得すること	
		経営コース		
		政策コース		
		地域福祉コース		
	交流文化系	系共通科目	※所属している系共通科目及び特別プログラム 基礎科目から合計 6 単位以上修得すること	
		国際教養コース		
		観光・まちづくりコース		
	メディア情報コース	※国際教養コースに所属する場合は、選択した 言語の語学科目は全て必修		
	専門演習	2 科目 8 単位		
発展教育 科目	特別 プログラム	特別プログラム基礎科目	5 8 単位以上(専門教育科目(専門演習を除く) と合算して) ※国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」 又は「実践外国語」より選択必修	
		社会福祉士養成課程		
		エネルギー特別専攻		
	外国語 発展科目	ロシア語 日本語		
留学外国語				
人材育成 強化科目	キャリア科目	基本科目	1 0 単位以上 ※「キャリア入門 a, b」、「キャリアと人生 a, b」必修 ※応用演習科目から 4 単位以上修得すること	
		発展科目		
	応用演習科目			
	リメディアル科目	「国語基礎 1・2」及び「数学基礎 1・2」		
	合計	1 2 4 単位以上		

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本学ホームページに掲載  
<https://www.koeki-u.ac.jp/academics/completion-guide/index.html>

## 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東北公益文科大学
設置者名	学校法人東北公益文科大学

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_1_shikin.pdf">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_1_shikin.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_1_shikin.pdf">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_1_shikin.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_4_zaisan.pdf">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_4_zaisan.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/financial_report_r1.html">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/financial_report_r1.html</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_2_kansa.pdf">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/houjin/report/r1_2_kansa.pdf</a>

### 2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: 第3次教学中期計画)	対象年度: 令和2年度~令和7年度)
公表方法: <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/kyogakutyukikeikaku_20200401.pdf">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/kyogakutyukikeikaku_20200401.pdf</a>	

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/assessment.html">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/assessment.html</a>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### (2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/authentication.html">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/authentication.html</a>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html">https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html</a> ) (概要)  グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップをもって果敢に取り組む人材。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html">https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html</a> ) (概要)  幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の 4 つの力を身に付ける。 ・ 1 コミュニケーション力と発信力      ・ 2 国際感覚 ・ 3 創造力と企画力      ・ 4 リーダーシップ
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html">https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html</a> ) (概要) ○基本的な学習能力と幅広い教養を身に付けるため、基礎教育科目を配置する。地域社会の現状を理解し課題を発見する上で必要となる知識や、課題解決に向けた専門的な方法論を体系的に学ぶため、専門教育科目を配置する。 ○特定の分野や時代のニーズに即したテーマを対象として、高度な知識やスキルの修得をめざす特別プログラムを配置する。 ○授業運営においては、教員からの一方的な講義だけでなく、学生同士でのグループワークの実施や成果を発表する機会を多く取り入れる。 ○外国語科目を 2 年次まで必修とするとともに、国際関係論や海外や日本の文化等を学ぶ科目を配置する。更に、英語圏、中国語圏の大学で語学を学ぶ短期語学留学を配置する。 ○地域の人々とのコミュニケーションを図りながら、地域の課題を発見・分析し、問題解決への解を見つけ、提言を行う能力を涵養するため、応用演習科目を配置する。 ○地域企業の創業者から講義を受ける“トップセミナー”を配置するとともに、地域の企業と連携しインターンシップの充実を図り、学生の目的意識に応じた複数のインターンシップを配置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html">https://www.koeki-u.ac.jp/academics/koeki-u_policy.html</a> )

#### (概要)

公益学部公益学科は地域経営系、交流文化系の2つの系から成り、経営、政策、地域福祉、国際教養、観光・まちづくり、メディア情報の6つのコースを設置しています。外国語や情報処理などの汎用的技能及びリベラルアーツを身に付け、コースの講義や演習を通して修得した専門的な知識・技術を活用し、地域社会が直面する諸課題に取り組みます。これらを通して実践力を養うとともに社会と時代の要請に応え得る有為の人材を育成します。

そのため、東北公益文科大学では次の要件に該当し知的好奇心と探究心を持った勉学意欲の高い学生を求めています。

国際的な視野を持ち、地域社会における経済、行政、福祉などの領域で、自ら課題を見つけ解決策を考え、リーダーシップを持って地域の人々とともに課題に取り組みたいと考えている人。

#### **AO入学試験**

本学で学ぶ明確な目的と意欲を持ち、本学が求める学生像に合致する者を選抜するために、小論文、面接・プレゼンテーション及び書類審査（調査書）を課しています。プレゼンテーションや志望理由書に基づく質疑応答を重視しつつ、小論文、面接・プレゼンテーション、書類審査の結果を総合して評価します。

#### **ギャップイヤー入学試験**

本学が推奨するギャップイヤープログラム（社会体験活動）に明確な目的と意欲を持ち、1年次からの長期学外学修に参加することができる知的好奇心と探究心を持った勉学意欲の高い者を選抜するために、小論文、面接・プレゼンテーション、書類審査（調査書）を課しています。ギャップイヤープログラムに基づくプレゼンテーション、質疑応答を重視しつつ、小論文、面接・プレゼンテーション、書類審査の結果を総合して評価します。

#### **指定校制推薦入学試験**

本学で学ぶ明確な目的と意欲を持ち、高等学校在学中の優れた成績・活動実績を有し、本学が求める学生像に合致する者を選抜するために、本学が指定する高等学校から推薦された者を対象に、面接及び書類審査（調査書）を課しています。志望理由書に基づく質疑応答を重視しつつ、書類審査と面接の結果を総合して評価します。

#### **公募制推薦入学試験**

本学で学ぶ明確な目的と意欲を持ち、高等学校在学中の優れた成績・活動実績を有し、本学が求める学生像に合致する者を選抜するために、小論文、面接及び書類審査（調査書）を課しています。小論文による思考力・判断力・表現力を重視しつつ、小論文、面接と書類審査の結果を総合して評価します。

#### **一般入学試験**

高等学校卒業水準の基礎学力を身につけた入学者を選抜するために、英語、国語、数学、現代社会、日本史または小論文の個別学力検査を課し、知識・技能、思考力・表現力・判断力を評価します。

#### **大学入試センター試験利用入学試験**

高等学校卒業水準の基礎学力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験（国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語）を課し、知識・技能を評価します。



②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[https://www.koeki-u.ac.jp/about\\_us/information/2-2soshikizu2019.pdf](https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/information/2-2soshikizu2019.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
公益学部	－	15人	15人	7人	3人	0人	40人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
0人			65人			65人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/kyouin/teaching_staff.html">https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/kyouin/teaching_staff.html</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
令和元年度のF D開催回数は8回となっており、今後の入試改革、障害学生支援、ハラスメント防止研修など、毎回様々なテーマを設定し、実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
公益学部	235人	250人	1.1%	960人	970人	1.0%	10人	7人
合計	235人	250人	1.1%	960人	970人	1.0%	10人	7人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
公益学部	176人 (100%)	6人 (3.4%)	161人 (91.5%)	9人 (5.1%)
合計	176人 (100%)	6人 (3.4%)	161人 (91.5%)	9人 (5.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 東京ガス、ゼンリン、ローソン、秋田銀行、山形銀行、日本生命保険、エイチ・アイ・エス、 日本年金機構、全国農業協同組合連合会、石巻赤十字病院、山形県、山形県公立学校教員(中学校・社会)、 酒田市 等々				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>例年 10 月の教育推進委員会で次年度の作成方針が協議され翌 11 月の教授会において全学で共有される。11 月から 1 月にかけて各担当教員が作成しウェブ上のフォーマットに入力する。その後、教育推進委員が分担してすべての科目の第三者チェックを実施し、3 月中にシラバスをウェブ上で公開している。</p> <p>シラバスに記載している項目は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディプロマ・ポリシーに定める能力のうち、当該科目で育成するスキル</li> <li>・ アクティブラーニングの形態</li> <li>・ 教職課程科目、社会福祉士課程指定科目かどうか</li> <li>・ 実務家教員の担当科目かどうか</li> <li>・ 地域に関する学習が含まれるか</li> <li>・ 科目名（英語名）</li> <li>・ 担当教員</li> <li>・ 開講時期</li> <li>・ 科目ナンバー</li> <li>・ 授業コード</li> <li>・ 単位</li> <li>・ 授業概要</li> <li>・ 到達目標</li> <li>・ スキルの育成方法</li> <li>・ 授業計画（毎回の授業内容、事前事後学修内容とその所要時間）</li> <li>・ 成績評価基準</li> <li>・ 前提科目・後継科目</li> <li>・ 教科書</li> <li>・ 参考書</li> <li>・ その他・注意事項</li> </ul>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>公益学部のディプロマポリシーは次のとおりです。</p> <p>公益学部は、次の方針に基づいて学士（公益学）の学位を授与します。学生の皆さんは、卒業に必要な所定の単位修得を含めた学修活動を通じて、この方針に示した能力を習得することが求められます。</p> <p>○幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の4つの力を身に付ける。</p> <p>1 コミュニケーション力と発信力    2 国際感覚    3 創造力と企画力 4 リーダーシップ</p> <p>なお、卒業に必要な所定の単位は次のとおりです。（2020年度入学生）</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
公益学部	公益学科	124 単位	有	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.koeki-u.ac.jp/facilities/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
公益学部	公益学科	650,000 円	270,000 円	200,000 円	施設整備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組		
(概要) 次表の各項目について、全学的に支援をおこなっている（自己評価報告書より）		
	学修支援内容	関連部署
1)入学前教育	・入学前学習	入試事務室 教務学生課 学修支援部会
2)初年次教育	・新入生オリエンテーション・ガイダンス ・時間割作成 ・基礎演習 a、b ・キャリア入門 a、b ・ドミトリー(学生研修寮)教育 ・自校教育 ・日本語教育	教務学生課 アドバイザー教員 科目担当教員 教育推進センター 学生支援センター キャリア開発センター 国際交流センター
3)修学支援	・年次別オリエンテーション ・オフィスアワー ・TA ・欠席調査 ・休退学相談 ・教育改善意見交換会 ・学修・授業支援サービス	教務学生課 アドバイザー教員 科目担当教員 保健管理部学生相談室
b. 進路選択に係る支援に関する取組		
(概要) 本学では、1年次からじっくりと自分のキャリアに向き合ってもらうため、さまざまなキャリア科目を展開しています。1年生を対象にした「キャリア入門 a、b」、3年生対象の「就職セミナー」などは単位化。少人数の良さを十分に活かしたきめ細かな教育を行うとともに、インターンシップの選択必修化や3年生全員を対象にした個別面談など、学生一人ひとりの進路実現を大学挙げてバックアップしています。（HPの「情報公開」ページから転記）		
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組		
(概要)		
<p>■ 健康支援</p> <p>健康管理室を設置し、病気やけが等の応急処置や心身の健康に関する相談に応じています。なお、健康管理室で対応できない場合は、学校医又は医療機関を紹介します。</p> <p>■ 生活や授業に関する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての教員が、「オフィスアワー」という学生相談のための時間帯を設けています。</li> <li>・ 学生相談室を設置し、学生生活や学業のこと、将来の進路や自分自身のことなど学生生活全般へのサポートを行っています。また、青年期によく見られる悩みに対し、専門的な相談員を置き、相談を受け付けています。</li> </ul>		

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：[https://www.koeki-u.ac.jp/about\\_us/information/index.html](https://www.koeki-u.ac.jp/about_us/information/index.html)